

和合

No.147
2022.7.15

題字：三浦修次



主な掲載記事

- 和合の里あれこれ……………2
- はやぐおっきぐなれの～！…3
- おらほの行事食……………3
- よつぱっこ通信……………4
- わたしが描く和合の里…………5
- わたしから見た和合の里…………5
- 畑にこんにちは……………6
- 人生100年時代……………6
- わごう駐在所……………7
- 和合館の取り組み……………7
- 和合の里INFORMATION…………8

和合の里 あれこれ

【堤新田 編】

皇大神社

創基は詳らかではありませんが、伝承によると元禄年間（1688年～1704年）の創建と伝えられています。

寛政12年（1800年）に再建、昭和3年（1928年）に新築再建が行われました。また、平成11年（1999年）に300年祭が執り行われていました。300年祭にあたり住民から灯籠と狛犬が奉納され、祭典当日は住民が皇大神社に集まり、神事が執り行われました。

敬老会

10月～11月頃、70歳以上の住民を対象に敬老会が開かれています。敬老会当日は公民館に集まり、みんなで食事会。お友達との会話が盛り上がり、あっという間に時間が過ぎます。参加できなかった人には料理を部落役員が自宅まで届けています。

新型コロナウイルス感染症が流行してからは敬老会を開かず、部落役員が料理を対象者の自宅まで届けていましたが、今年は開催に向け準備を進めています。

花植え・クリーンデー

花植えは子ども達と各家庭から1人ずつ集まり、ベコニアやペチュニア、マリーゴールドなどを花壇に植えます。

花植えが終わったら、部落内や部落内を通る県道沿いのゴミ拾い。みんなで空き缶やタバコの吸い殻などのゴミを拾い、部落内をきれいにすることで地域愛を育んでいます。



↑みんなで植えた花壇



↑皇大神社の境内

お伊勢講

「余目町の民俗-ムラの信仰と行事-」（平成10年（1998年）3月 余目町教育委員会発刊）によるとお伊勢講は近代初頭から行われており、室町時代以降盛んになった伊勢信仰を基としています。伊勢参宮を目的として結成され、伊勢に代参を送るため、講中で路銀を共同出資し、講員が代る代る参詣します。

堤新田のお伊勢講は大正5年（1916年）に結成されました。年に2回集まり、皇大神社の大神を祀った後、講員から会費を集めます。集めた会費は積み立てし、10年～15年の間隔で参宮するための費用に充てられます。

会員研修会

地域住民の絆を深めるため、11月初旬に各家庭から1人～2人が参加し、日帰り研修に行きます。行先は県内の他にも秋田県や福島県、新潟県などです。帰ってきたら公民館で懇親会をします。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止していますが、感染状況をみながら開催を検討しています。

パパとママにインタビュー

はやくおっきくなれの～!



もも か
佐藤 百華ちゃん
(南野)

令和3年12月6日生まれ

パパ：宅真 ママ：美緒

- ① 女のこらしい響きと花束のようなイメージで決めました。百の字はなにごとにも100パーセントで、華の字はお姉ちゃんと仲良くすごせるようにと、お揃いにしました。
- ② 興味を持っていることは、お姉ちゃんが帰って来てから食べるおやつ。じーっと見たり声をあげて私にも頂戴!と言っているようです。ハマっていることはゲーのまま指しゃぶりです。
- ③ 今年に入って、はじめてスイカを買ってきてお姉ちゃんがうれしそうに食後食べていたときに、じーっと見ているなあと思ったら、口の周りがヨダレだらけに!! スイカって美味しそうだよね!
- ④ 首も座ったのでベビーウォーカーにのせておもちゃをテーブルにおき遊ばせました。やけに今日は機嫌がいいなあとおもったら、オムツの中が大爆発💧嬉しそうに笑っていました。
- ⑤ まだ生まれたばかりのももちゃん、これからハイハイしたり、おすわりして立ち上がったりとやることいっぱいありますね! みんなでももちゃんのこと応援してるから安心して大きくなって行ってね。



Q1 名前の由来は? Q2 今一番の興味やはまってることは? Q3 最近記憶に残ったエピソードは?
Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ

おらほの行事食



どじょう汁

◆ 材料【4人分】

- ・どじょう 400g
- ・玉ねぎ 1/2個
- ・茄子 1/2~1本
- ・豆腐 1/2丁
- ・ふだん菜 80g
- ・長ねぎ 1/2本
- ・しその葉 4~5枚
- ・酒 大さじ3
- ・醤油 大さじ5
- ・だし汁 400cc

【土用丑】

立秋前18日前(今年の土用丑は2回あり、「一の丑」7月23日(土)、「二の丑」8月4日(木))の夏の土用に行われる行事で、うなぎやどじょうを食べて夏負けしないように栄養をとったという説があります。

◆ 作り方

1. 鍋に泥をはかせたどじょうと酒を入れ、ふたをする。
2. 玉ねぎは1cm幅に切り、なすは縦半分にし、薄切りにして水にひたす。
3. 長ねぎは小口切りにし、ふだん菜は2cm幅に切り、しその葉は5mm幅に切る。豆腐は手で食べやすい大きさにちぎる。
4. 鍋を火にかけ、しばらくしたら、だし汁、茄子、玉ねぎ、ふだん菜、豆腐を入れて煮る。
5. 醤油を入れて味を調えたら、しその葉を入れて混ぜる。
6. 盛り付けて長ネギをちらし、完成。

○ ポイント

- ・どじょうを真水に数日間泳がせておくと泥臭さが抜ける。
- ・卵、にら、生姜をいれても美味しい。

余目第四幼稚園

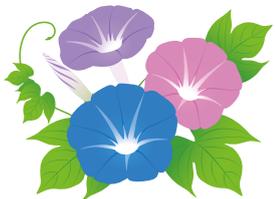
よつばっこ通信



今年も第四幼稚園名物「泥んこ山」の季節がやってきました！裸足になって砂や水、泥の感触をたくさん味わって楽しんでいます。こうした遊びは、ザラザラ、ぬるぬる、ひんやり、ホカホカ・・・子ども達の感覚を刺激する効果があります。また、“水を混ぜると柔らかくなる！次の日には固まっている！「なぜ？」「どうして？」「すご～い！」”遊びの中での様々な発見があります。子ども達の成長を豊かなものにしてくれますね。



幼稚園時代は汚れを気にせず、
心も体も思いっきり開放して
遊ぶ経験をさせたいものです！
『さあ～明日も遊ぶぞ!!』



余目第四小学校6年生

わたしが描く和合の里



らいき 徠希
押切 徠希
【廻館】

ぼくが描く「和合の里」は、緑がいっぱいで、山や木、田んぼなど、自然豊かなところです。風が気持ちよくて、空気もいいので、これからもそんな「和合の里」であってほしいです。そして、明るい「和合の里」が、いつまでもあってほしいです。



えみ 咲
渡會 咲
【吉方】

わたしが描く「和合の里」は、自然ゆたかで、春や秋には気持ちのいい風がふいています。夏になると、たくさんの生き物がいて、間近で見ることができます。冬にはグラウンドに雪が積もって、みんなで雪合戦をしたり、山からソリですべったりして遊んでいます。そんな「和合の里」がいつまでも続いてほしいです。

わたしから見た和合の里



余目第四小学校 立余町 庄内市
前教諭 齋藤 まき

和合の里に生まれ育つ子ども達が集う余目第四小学校。昨年度、特別支援学級担任としてお世話になり、思い出に残る日々を過ごさせていただきました。五年生の総合的な学習に稲作があります。和合の里といえ

ば、庄内のお米の元になった亀ノ尾発祥の地。毎年、栽培している亀ノ尾を子ども達と共に、田植えし、稲刈りさせていただきました。ここでしかできない貴重な体験でした。社会科の教科書でしか知りえなかった亀ノ尾、手渡された苗は結構伸びていて田植え後、何度か観察に行くと、初夏の風にそよぐ姿はまわりのはえぬきをしのぎ、堂々と成長していました。

収穫の時期になり、鎌を手に稲刈りもしました。稲穂が垂れずつしりと実った根元をザクッと引き切る度に、成熟した稲の独特の香りが立ち込めました。豊作の喜びを臭覚で確かめ、さらに後日、収穫感謝の集いでは、炊き立ての亀ノ尾を舌で味わい噛みしめました。甘くもっちりとした味でした。

地域の方の協力なくしては稲作の学習はできません。和合の里で亀ノ尾を代々育て、守り継いでこられた阿部家の方々のご厚意に頭が下がります。職員としてはありましたが、忘れられない、正に一期一会の出来事でした。

和合の里は、庄内のお米のふるさと。子ども達と共にお世話になりました。本当にありがとうございました。紙面を借りて感謝の気持ちをお伝えいたします。

畑にこんにちは！

梅雨の隙間の曇り空。ひんやりとした風が心地よい日。今回取材に伺ったのは南野の原田武子さんの畑です。

畑には大根、ブロッコリー、枝豆、かぼちゃ、茄子、にんにく、トウモロコシなど 10 種類以上の野菜と初挑戦のスイカがすくすくと成長していました。



↑ブロッコリー



↑キャベツ

現在、畑にしているところには、以前は木がたくさんあり、草が生い茂っていましたが、せっかくの土地があるのにもったいないと思い、手入れをして少しずつ畑にしました。

畑おこしなど 1 人では大変な作業は夫婦と一緒にしています。お話を伺った時期は、畑の様子を見ながら草取りや肥料をあげていました。草取りのポイントは根までしっかり取ること。根まで取らないと残った根からすぐに雑草が生えてきてしまい、余計に手間がかかってしまうので、根まで取することを心掛けています。

収穫した野菜は自分たちで食べるほか、離れて暮らす家族や親戚にあげていて、特に枝豆が喜ばれるそうです。

畑以外に楽しみにしていることはみんなで集まっておしゃべりをする事。歌の話になると新しい歌を覚えるきっかけになります。

最後に今年の夏の楽しみを伺うとお盆に離れて暮らす家族が帰ってくるときに、初挑戦のスイカを収穫し、一緒に食べることで笑顔で話していただきました。大きいスイカになりますように。



原田 武子さん（南野）

人生100年時代

「今年も健診、受けねばの！」

～家族、地域の方々で呼び掛け合いましょう！～

庄内町保健福祉課
健康推進係

保健師 井上 久野



今年度から四学区を担当します井上久野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

右の表は令和3年度の特健診（40～74歳）の集落別受診率を表したものです。町全体の平均は62.4%で、四学区の平均は61.2%です。家族や地域の方々の「健診、受けだ？」「健診さ、行こう」の声かけも重要ですので、積極的に声を掛け合いましょう。

特定健診の第一の目的は、自覚症状のない生活習慣病の早期発見です。車検と同じく、定期的にチェック（健診受診）し、不具合（異常）があればメンテナンス（生活習慣の改善、治療）をし、元気に安心した生活を過ごしましょう。健診の申込みはまだ間に合います。まだの方は今すぐお申込みください。

申込み先：健康推進係 ☎ 42-0170

令和4年度 集団健診

会場 余目第四まちづくりセンター

健診項目 特定健康診査、肺がん
胃がん、大腸がん検診

月 日	受付時間
8月30日（火）	午前7時30分 ～9時30分
11月7日（月）	

令和3年度 集落別特定健診受診率

集落名	受診率(%)	集落名	受診率(%)
廻 館	70.0	返 吉	66.7
南 野	59.4	京 島	64.3
古 関	58.4	新 田 目	27.3
沢 新 田	75.4	本小野方	75.0
連 枝	48.4	吉 方	59.1
赤 淵 新 田	77.8	西 袋	64.1
小 出 新 田	50.9	南 興 屋	66.7
堤 新 田	81.8	中 野	46.2
前 田 野 目	64.8	南 野 新 田	31.3
福 島	50.0	主 殿 新 田	46.7
大 真 木	66.7		

四学区平均	61.2	町の平均	62.4
-------	------	------	------

町の平均以上を青字にしています。



庄内警察署
菅原 直樹
(第四学区担当)

わごう駐在所

～庄内警察署からのお知らせ～

7月になると月山の登山客が増え、山岳遭難の発生が懸念されます。山岳遭難や登山中の事故を防ぐため、下記のルールを守って楽しく登山しましょう！

⚠️ 夏山にも危険がいっぱい ⚠️

～登山を楽しむためのルール～

- 登山計画を必ず立て、**登山届の提出**を。家族にも知らせましょう。
- 事前トレーニングを行い、体力、技術にあった無理のない登山を。こまめに水分、塩分等を補給しましょう。
- 道に迷ったら、来た道を戻り、見晴らしの良いところで助けを呼びましょう。
- 天候の急変に備えましょう。
(レインウェア、予備の食料・飲料、携帯電話、予備電池、地図、コンパス等)
- 気象情報、火山情報は登山中もこまめにチェックを。
- クマとの遭遇に気をつけましょう。(ラジオ、クマ鈴)
- 携帯電話のGPSは、入山前にオンにしましょう。
- 体調の悪いときや発熱等の症状があるときは入山を控えましょう。



ルールを守って、安全で楽しい夏を過ごしましょう!!!

和合の里の取り組み

～放課後子ども教室「わごうの広場」～

放課後子ども教室「わごうの広場」は余目第四小学校に通う子ども達を対象に「自由にのびのびと遊ぶこと」をテーマに、自由遊びと自主学習で構成されています。自由遊びでは余目第四小学校のグラウンドで追いかけてこや体育館でボール遊び、和合館で工作など子ども達がのびのび遊び、自主学習では真剣な眼差しで宿題に取り組んでいます。

浅井多一（沢新田）さんをコーディネーターに 10 数名が、子ども達が安全に渡るための交通指導や自由遊びで子ども達が行き過ぎていないか見守りなどを行っています。

「わごうの広場」では、今年も95名の児童の参加をえています。より安全に遊ぶように多くの見守り役（サポーター）を募集しています。活動時間は第二、第四水曜日の午後3時から午後5時30分。内容は自由遊びの見守りなどです。年齢制限や特別な資格は必要ありません。子どもとのふれあいが好きな方、すこしでもやってみたいと思った方は和合の里を創る会事務局（余目第四まちづくりセンター「和合館」内）【Tel：0234-44-2162】までご連絡ください。



プルタブ回収ご協力をお願い

私たち、余目四小学校児童会では、プルタブを回収しています。今年度は、ソーナさんに車を贈ることを目標に、みんなで力を合わせてがんばっています。

ぜひ、地域のみなさまにもご協力いただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。

★回収場所 「回収ボックスがあります！」

- 余目第四小学校
- 余目第四まちづくりセンター「和合館」

近くに住んでいる四小児童に渡していただいてもいいです



↑自動販売機脇に設置中です

↑和合館に設置する回収ボックスを届けていただきました

日常生活で困っていることはありませんか

便利屋「わごう」では、第四学区に住む65歳以上の方を対象に、利用者の代わりに日用品の買い物をする買い物代行や交通手段がない方へスタッフと一緒に買い物や通院をする移動支援、その他電球交換などのちょっとした家事支援をしています。

日常生活で困っていることがある方は和合の里を創る会事務局（余目第四まちづくりセンター「和合館」内）【Tel：0234-44-2162】までご相談ください。

編集後記

5月に和合館の入り口前花壇にひまわりの種を植えました。このひまわりは背丈がとても大きくなる品種で花径も大きくなります。また、東側にはコキアも植えました。和合館にお越しの際は、ぜひご覧ください。

